



8 田中交差点でピンポイント渋滞対策を実施します！

- 国土交通省では、ビッグデータの活用等により、今ある道路の運用改善や小規模な改良によって道路の機能を最大限に発揮する「ピンポイント渋滞対策」を推進しています。
- 国道8号田中交差点(上り)では、朝ピーク時に走行車両の約7割を占める右折車両がランプ分岐部まで滞留していたことから、ピンポイント対策として、田中交差点の手前にある市道交差点の路面標示変更による滞留長の延伸により、渋滞緩和を図ります。

○実施箇所：国道8号 田中交差点(上り)
[石川県金沢市田中町地内] ※下図参照

○実施内容：田中交差点の手前にある市道交差点の路面標示を変更します。

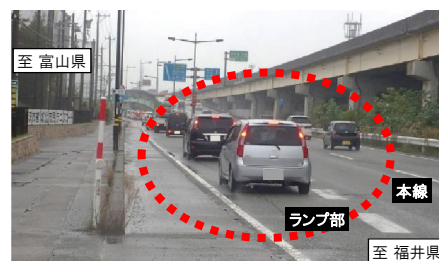
○工事日：令和3年10月28日(木)
【予備日29日(金)】

※天候により延期する場合があります。

※工事は車線規制で行います。

地域の皆様にご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【国道8号田中交差点(ランプ部)の車両滞留状況】



(H29年10月3日(火)朝ピーク時)

《位置図》



《広域図》



《交差点周辺拡大図》



地図出典：国土地理院ウェブサイト(<https://www.gsi.go.jp/>)

お問い合わせ先

●ピンポイント渋滞対策に関すること

金沢河川国道事務所 調査第二課長

とべ けいたろう

戸部 啓太郎

電話：076-264-9912(調査第二課直通)

●施工内容に関すること

金沢河川国道事務所 道路管理第二課長

かわはら かつみ

川原 克美

電話：076-264-9918(道路管理第二課直通)

URL：<https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/index.html>

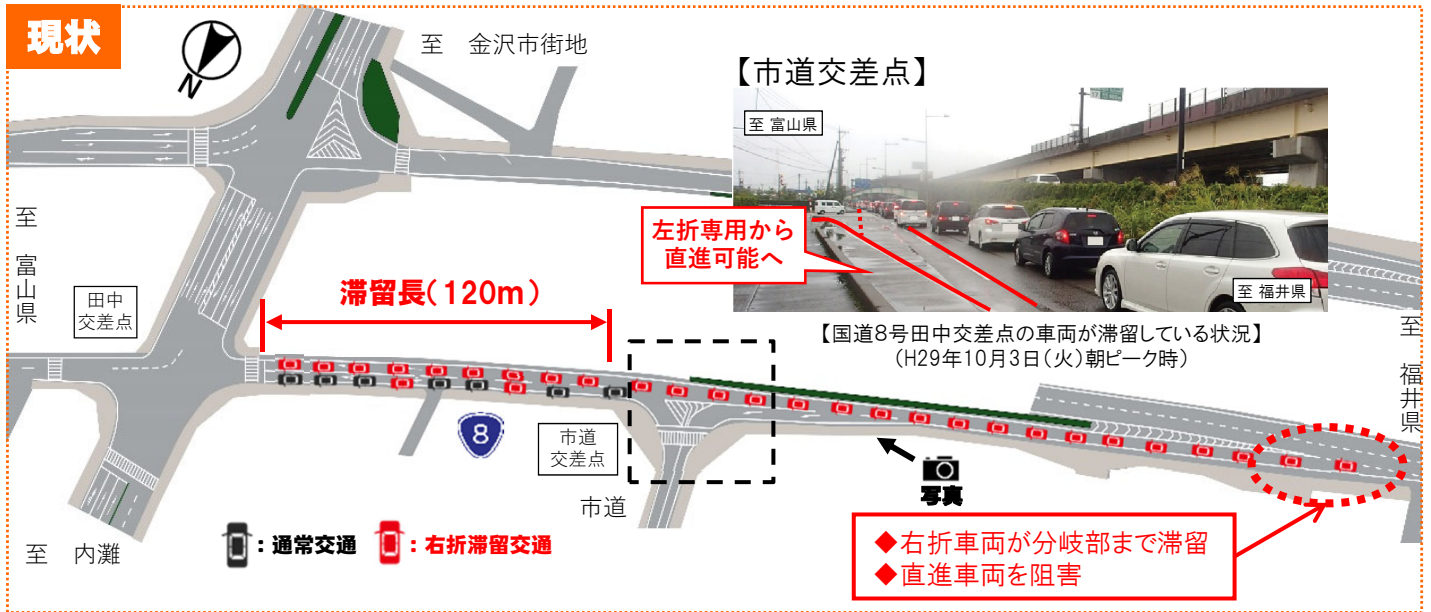
対策内容

対策：市道交差点の路面標示変更による
滞留長の延伸

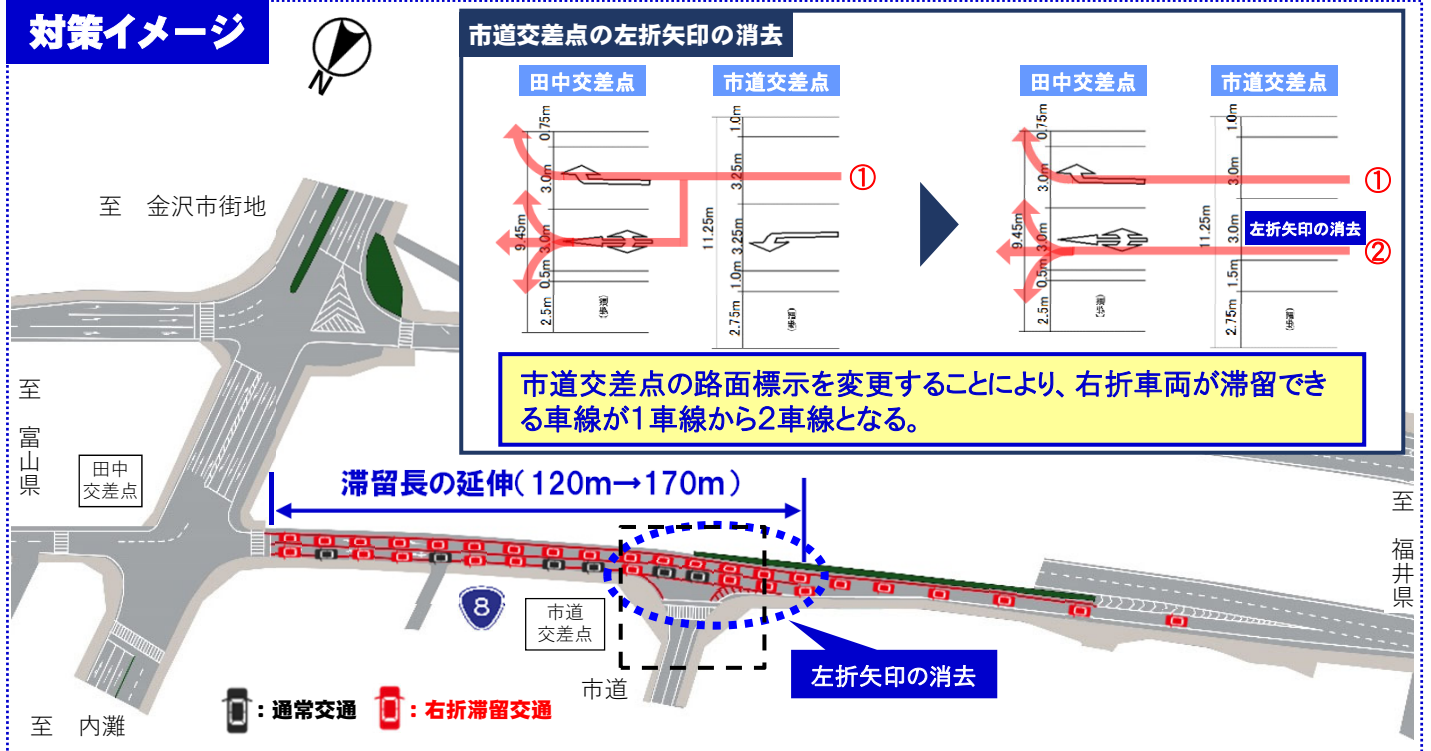
効果

滞留長の延伸による右折車両の滞留減少、
直進車両の阻害解消

現状



対策イメージ



ピンポイント渋滞対策とは

- 少ない投資で大きな効果を求めるため、比較的小さい規模で対策可能な箇所に対する渋滞対策を実施することで、混雑緩和を図る取り組みです。
- ETC2.0データ等の車両の移動履歴等を活用して、渋滞要因の特定を高度化しつつ、効率的なピンポイント対策や既存の道路幅員を活用した付加車線の設置等を行っています。

深刻な交通集中の頻発

車両の移動履歴等を用いた
データ分析による渋滞要因の特定

道路を賢く使うピンポイント対策